



大森山公園の千本桜が満開になり、山全体が桜色に染まりました。

このほか、町内各地の桜の名所では、家族連れなど大勢の人がお花見を楽しみました。(4月初旬頃)



南宇和カラオケ愛好会(松岡利彦^{としひこ}会長、写真左)主催の「第48回福祉チャリティー歌舞踊発表会」が御荘文化センターで開催され、集まった募金が町社会福祉協議会に寄附されました。(4/5)



愛南町では、県と町の職員が連携して収税や滞納整理業務を行う職員相互併任を平成24年度に導入し、税金の確保に取り組んでいます。

4月6日には町長室で辞令^{しじょう}交付式が行われ、愛媛県職員^{えひめけんしんいん}の白石光章^{みつあき}係長と川口環^{たまき}主任を愛南町税務課管理収納係に任命しました。



新庁舎の建設が予定されている役場敷地内で起工式が実施され、町関係者や工事業者^{こうじしや}が出席して工事中の安全を祈願しました。穿初^{せんぞ}の儀では、清水雅文^{まさふみ}町長が鍬入れを行いました。(4/7)



建設工事の完成に伴い、4月16日から新しい消防庁舎で業務が行われています。運用開始^{まよひ}を間近に控えた3月31日には、清水雅文^{まさふみ}町長や岡田敏弘^{としひろ}副町長が新消防庁舎を視察しました。



あんなにいい遊び、こんなにも

写真 5 写真 6

森はともだち！
自然の中で思いっきり遊ぼう！

愛媛県「森はともだち」推進事業の指定を受け（平成 24、25 年度）、平成 26 年からは愛媛県森林環境保全基金公募事業の補助金を受けて、長月小学校の児童が「長月夢の森」の“建設”を進めています。

「夢の森」は御荘長月地区の吉村隆典さん所有の山中にあり、同校児童が木材や竹を切ったり組み合わせたり、汗を流して作り上げた「展望デッキ」や「空中ブランコ」、「吊り橋」など 12 施設が所狭しと並び、子供たちの遊び心をくすぐっています。

3 月 21 日には、昨年 9 月頃から作業に取り組んでいた長さ 12m の「ジャンボ滑り台」の完成を記念して、作業に携わった同校児童や卒業生など 15 名が集まり、思い入れのある遊具で思いっきり遊びました。

吉村さんによると、この補助事業は平成 27 年度も継続して行われ、子供たちの成長とともに「長月夢の森」もさらに発展する予定だそうです。

写真 4

21 宇和島道路が全通！
交流人口の増加に期待

平成 20 年に着工し工事が進められていた自動車専用道路「国道 56 号宇和島道路」の津島高田インターチェンジ (IC) — 津島岩松 IC 間 (3.5km) の供用が開始されました。

清水雅文町長も出席して華やかに開催された開通式典には、愛南町ご当地キャラクター「なーしくん」も参加してセレモニーを盛り上げました。

HOME PLANET

本日！海日和！！ vol154 「海の鍾馗様」



オニカサゴ

端午の節句には、魔除けのために鍾馗様の人形や絵を飾り、子供たちの健やかな成長を願う風習がある。立派なひげをたくわえ、大きな目を見開いている鍾馗様は、どこかオニカサゴの風貌に似ている。

オニオコゼやオニユリなど、「鬼」の付くものは、もとの生き物より大きかったり、異様な姿をしていたりする 경우가多い。オニカサゴは、大きくて異様な姿をしたカサゴという意味である。愛南町ではジーヤンホゴと呼ばれている。おじいさんのホゴという意味であるが、こちらのほうが親しみをもてる。

見た目は悪いが、知る人ぞ知る高級魚である。白身の上品な味で、刺身で食べてもおいしいが、煮付けや鍋にするのが最高である。機会があればぜひ食べてほしい。

子供が大きくなってしまった我が家では、オニカサゴの写真でも飾って、魔除けにするのもいいかもしれない。

(撮影地：横島) 愛南サンゴを守る会 西尾知照



写真 1
3/ 石垣の里
だんだん雑祭り

日本を代表する石垣文化の景観地である外泊地区の石垣の里で、いしがき守ろう会（吉田清一会長）と外泊地区が主催する「だんだん雑祭り」が開催されました。

主会場の広場のほか同地区の石垣の上や民家の玄関先には、出品者が手のひらサイズの石にそれぞれの思いを込めて描いた色鮮やかなお雛様約200点が並べられ、訪れる人の心を和ませていました。

写真 2
3/ 15げんき市でまちを
元気に

歩行者天国となった城辺商店街で、まちの元気を集める楽しいスポットを作ろうと、町ボランティア連絡会（森岡真由美会長）の主催による「第11回げんき市」が行われました。

当日は時折強い雨が降るあいにくの天気でしたが、町内の小・中・高校生ボランティアの協力もあり、手作り雑貨を販売するフリーマーケットや4か所のチェックポイントを回るウォークラリーやアマチュアバンドのライブなど盛りだくさんのイベントで賑わいました。

写真 3
3/ 15がんばれ
愛媛FC

ニンジニアスタジアム（県総合運動公園陸上競技場）で、愛媛FC対アビスパ福岡のJ2公式戦が愛南町のマッチタウンゲームとして開催されました。

試合前のセレモニーでは、平城サッカークラブの子供たち19名がエスコートキッズを務め、清水雅文町長が両チームに記念品として「河内晩柑ジュース」を贈呈しました。

試合は愛媛FCが2対1で快勝し、この試合の最優秀選手に選ばれた西田剛選手に、愛南町からのMVP賞として「真珠付き携帯ストラップ」が贈られました。